

定格

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	73 dB (MONO)
選択度	80 dB 以上 (\pm 400 kHz)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ /25 μ V

カセットデッキ部

テープスピード	4.76 cm/sec.
ワウ&フラッター	0.12 % (WRMS)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	25 Hz~22 kHz (70 μ s)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
S/N比 (dB) (IHF-A)	54 dB

オーディオ部

最大出力	25 W \times 4
定格出力	15 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 1%THD)
トーンコントロール	±10 dB (100 Hz)
バス	±10 dB (10 kHz)
トレブル	

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	6.5 A

寸法・質量 (重さ)

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 154 mm
質量	1.4 kg

付属部品

電源ハーネス	1個
サラネジ (ϕ 5 \times 8 mm)	4本
トラスネジ (ϕ 5 \times 8 mm)	4本
バインドネジ (M4 \times 6 mm)	1本

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9 (ケンウッド青葉台第2ビル)
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日は休ませさせていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-240

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読みのおうえ、説明の通り正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
© B64-0959-00 (MC)

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。



Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

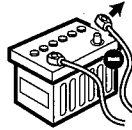
警告



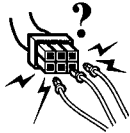
カーオーディオ製品はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



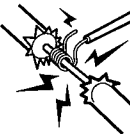
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



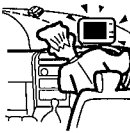
カーオーディオ製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



カーオーディオ製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



カーオーディオ製品取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



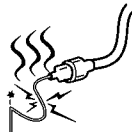
車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



警告



カーオーディオ製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



カーオーディオ製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
・コントロール設定や調整などのカーオーディオの操作



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起りましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売会社>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



カーオーディオ製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



修理は必ず<お買い上げの販売店>、ケンウッドサービス、または営業所にご依頼ください。

⚠ 注意



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



カーオーディオ製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



カーオーディオ製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

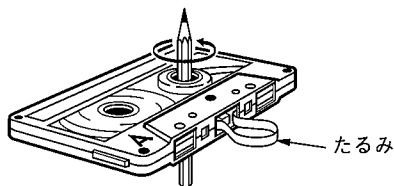
使用上の注意

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布で乾拭きしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

テープの取り扱いについて

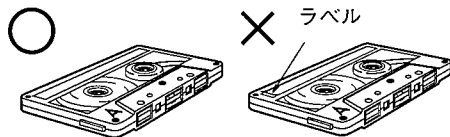
テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取り、たるみをなくしてから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。

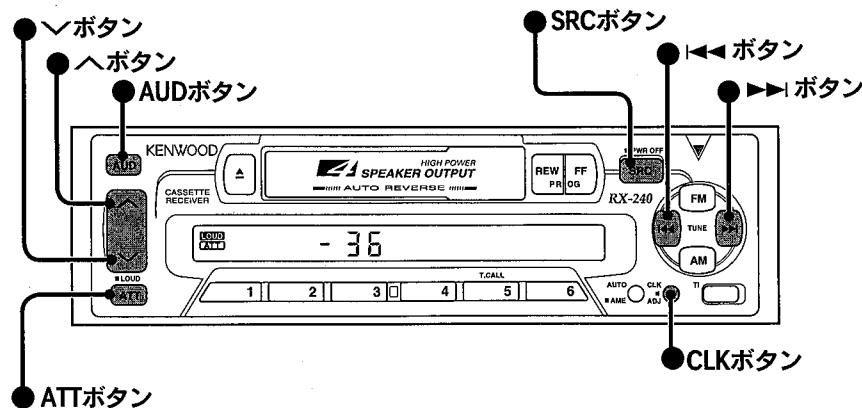


ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

ALL MODE

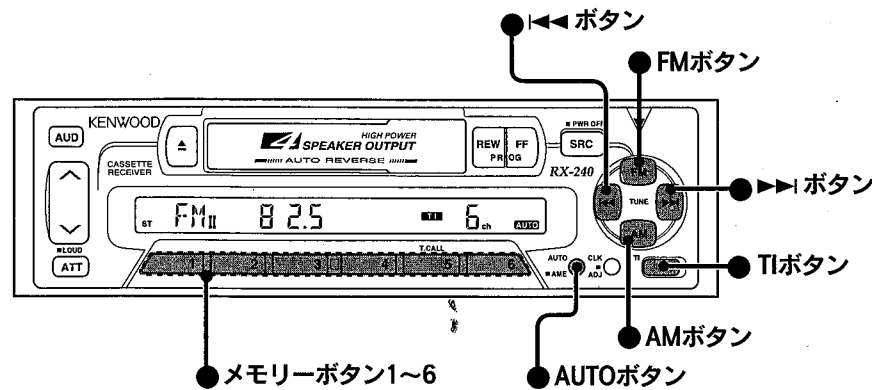
～共通機能～



- ① パワー ON/OFF <電源を入れる/切る>**
SRCボタンを押すと電源がONになります。電源ON中に1秒以上押すと電源がOFFになります。
 - ② ソースモード切り替え <ソースを選択する>**
SRCボタンを押すごとに次のようにソースが切り替わります。
TUNER (FM/AMチューナーモード) → TAPE (テープモード) → ALL OFF (機能一時停止)
 - ③ ボリューム <音量調整>**
へボタンを押すごとに音量が大きくなります。
∨ボタンを押すごとに音量が小さくなります。
 - ④ オーディオコントロール <音質やバランスなどを調整する>**
1. AUDボタンを押すごとにBAS (低音) → TRE (高音) → BL (左右のバランス) → FD (前後のバランス) → 解除(音量)の順に表示され、調整できるようになります。
2. へ/∨ボタンを押すと各設定値が以下の範囲で変更できます。
BAS (低音) / TRE (高音) -10~+10
BL (左右のバランス) L15~R15
FD (前後のバランス) F15~R15
5秒間なにも操作しないと、自動的に解除され音量調整になります。
 - ⑤ アッテネーター <音量をすばやく小さくする>**
ATTボタンを押すごとにアッテネーターがON/OFFします。ON中はATTインジケータが点滅して音量が小さくなります。
 - ⑥ ラウドネス <小音量時にメリハリのある音にする>**
ATTボタンを1秒以上押すごとにLOUDネスがON/OFFします。ON中はLOUDインジケータが点灯して低音と高音を強調した音質になります。
 - ⑦ 時計表示切り替え <時計表示にする>**
CLKボタンを押すごとに各モードの表示と時計表示が切り替ります。
- メモ**
パワーOFF、およびイグニッションキーを切った場合は時計表示しません。
- ⑧ 時計調整 <時刻を合わせる>**
時計表示中にCLKボタン押しながら◀◀ボタンを押すと“時”の調整が、▶▶ボタンを押すと“分”の調整ができます。

TUNER MODE

～ラジオを聴く～



① バンド切り替え <聴きたいバンドを選ぶ>

FMボタンを押すごとに受信バンドがFM I → FM II に切り替わります。
AMボタンを押すごとに受信バンドがAM I → AM II に切り替わります。

② オート/マニュアルチューニング切り替え <放送局を探す>

AUTOボタンを押すごとにオートチューニングがON/OFFします。オートチューニング中はAUTOインジケータが点灯します。

● オートチューニング (AUTOインジケータ点灯)

▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ、◀◀ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

● マニュアルチューニング (AUTOインジケータ消灯)

▶▶ボタンを押すごとに周波数が高い方へ、◀◀ボタンを押すごとに周波数が低い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して周波数が変わります。FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

③ チューナーメモリー <放送局をメモリーする>

放送局を受信中にメモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押すと、押したメモリーNo. がディスプレイに表示され、放送局がメモリーされます。各受信バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

④ オートメモリー <自動的に放送局を探してメモリーする>

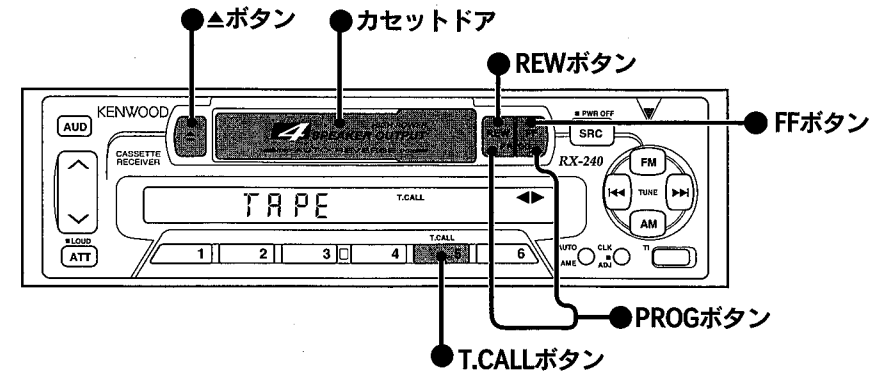
AUTOボタンを2秒以上押すと、chインジケータが点滅して現在受信可能な放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

⑤ 交通情報 <交通情報局を受信する>

1. TIボタンを押すとTIインジケータが点灯して交通情報局を受信します。
2. ▶▶ボタン/◀◀ボタンを押すごとに受信周波数を1620KHz、1629KHz、522KHzに変更することができます。
3. 交通情報局を解除するときは、TIボタンを押します。

TAPE MODE

～カセットテープを聴く～



① テーププレイ <カセットテープを聴く>

カセットドアにテープが見える面を右側にしてカセットテープを挿入するとテーププレイが始まります。

注意 テープを聴かないときはカセットテープを取り出してください。テープを長時間入れたままにしておくとテープが破損したり、本機の故障の原因となります。

② イジェクト <カセットテープを取り出す>

▲ボタンを押すとテーププレイが止まり、テープがイジェクトされます。

③ フォワード/リバースプレイ切り替え <テープのA面/B面を切り替える>

PROGボタンを押すごとにフォワードプレイとリバースプレイが切り替わります。テープの走行方向は◀▶インジケータで確認することができます。

メモ

A面を上にしてテープを挿入すると、A面を演奏中は▶インジケータが点灯し、B面を演奏中は◀インジケータが点灯します。

④ 早送り

FFボタンを押すと早送りが始まります。テープの最後まで早送りすると自動的にリバース面を再生します。途中で解除するときは、PROGボタンを押します。

⑤ 巻き戻し

REWボタンを押すと巻き戻しが始まります。テープの最初まで巻き戻しすると自動的に再生します。途中で解除するときは、PROGボタンを押します。

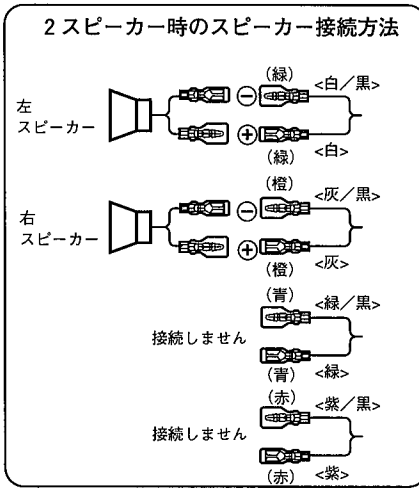
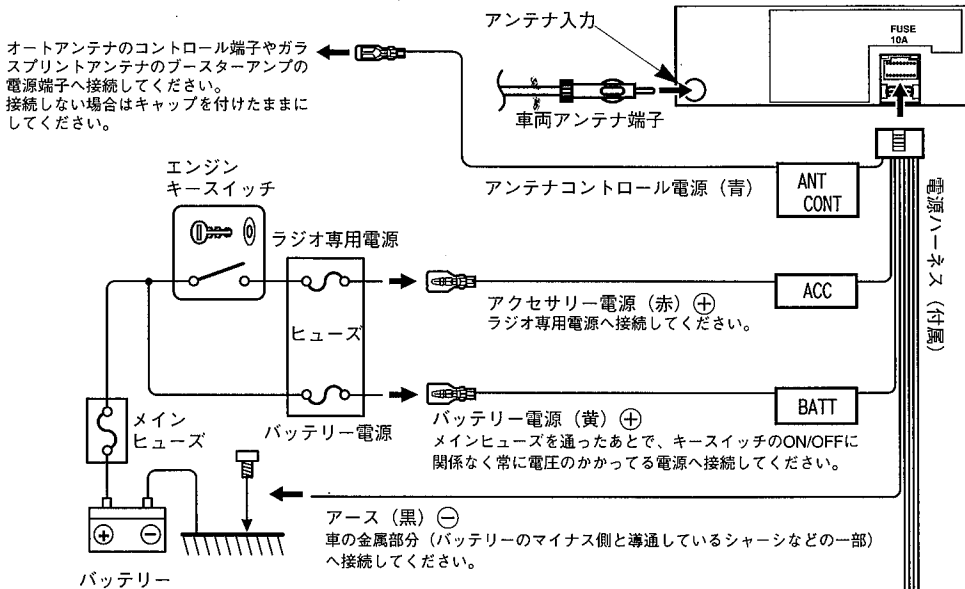
⑥ チューナーコール <早送り・巻き戻し中にラジオを聴く>

T.CALLボタンを押すごとに、チューナーコールがON/OFFします。ONにするとT.CALLインジケータが点灯してテープの早送り・巻き戻し中にラジオを受信します。

接続のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

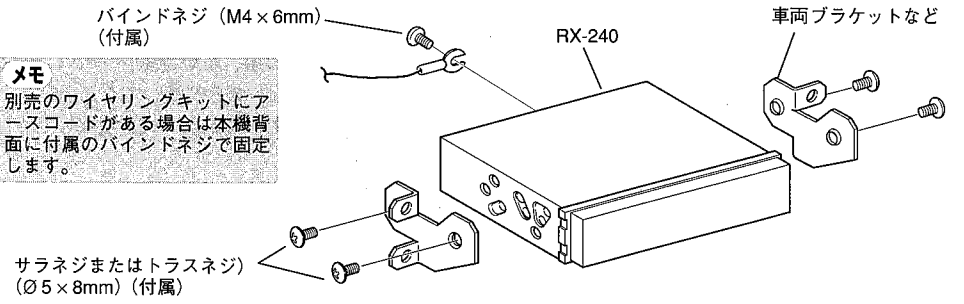
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをRX-240に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。



取り付けかた

付属のネジ(Φ5×8mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注意 本機を取り付けの際は、必ず本機に付属しているネジを使用してください。異なるネジを使用しますと、本機のネジ穴を破損することがあります。なお、車両ブラケット用ネジはサラ型、トラス型の2種類付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



メモ 別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

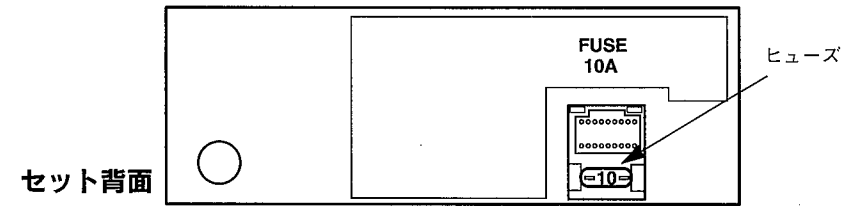
付属ネジ一覧

	サラネジ(Φ5×8mm).....	4
	トラスネジ(Φ5×8mm).....	4
	バインドネジ(M4×6mm).....	1

別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にジャストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

ヒューズの交換

ヒューズが切れた場合はコードがショートしていないことを確認後、セット背面表示してある容量と同じヒューズと交換してください。



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none">音量が最小になっている。ヒューズが切れている。フェダー、バランスが片側に片寄せた設定になっている。入・出力/電源コードが間違っただけで接続されている。カセットテープの不良。カセットテープが正しくセットされていない。	<ul style="list-style-type: none">音量を適度に上げてください。コード類がショートしていないことを確認後、所定容量(ケースに表示)のヒューズと交換してください。フェダー、バランスを調整してください。"接続のしかた"を見て正しく接続してください。他のカセットテープを使用してください。カセットテープを挿入してもテーププレイが始まらないときは、一度イジェクトして再度挿入してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none">音量が大きすぎる。ヘッドが汚れている。スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。スピーカー配線が間違っている。	<ul style="list-style-type: none">適正音量で使用してください。"ヘッドクリーニングについて"を見てヘッドクリーニングを行ってください。スピーカー配線をチェックしてください。スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none">カセットハーフが変形している。テープが逆向きになっている。	<ul style="list-style-type: none">他のカセットテープを使用してください。テープが見える面を右にして入れてください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none">自動車のアンテナが伸びていない。アンテナコントロール電源が接続されていない。	<ul style="list-style-type: none">アンテナを十分伸ばしてください。"接続のしかた"を見て正しく接続してください。

保証とアフターサービス

保証書

この商品の保証書は別途添付しております。

保証期間

お買上げの日より**1年間**です。

正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**します。

保証期間経過後の修理

お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。

本機の当社規定**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。